

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 講師 高 橋 沙 希 （たかはし さき） TAKAHASHI Saki
所属	保 育 科
学位	修士（教育学）（東京大学）
資格・免許	養護教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（保健） 高等学校教諭一種免許状（保健）
学歴・職歴	<学歴> 2013 年 3 月 埼玉大学教育学部養護教諭養成課程 卒業 2015 年 3 月 東京大学大学院教育学研究科修士課程 修了 2019 年 3 月 東京大学大学院教育学研究科博士課程 単位取得後退学 <職歴> 2015 年 4 月 埼玉大学教育学部附属中学校 非常勤講師・養護教諭 (2016 年 4 月まで) 2017 年 4 月 国際学院埼玉短期大学 兼任講師 (2019 年 9 月まで) 2019 年 10 月 首都大学東京 兼任講師 (2020 年 3 月まで) 2018 年 4 月 東京大学大学院教育学研究科 特任研究員 (2021 年 3 月まで) 2020 年 4 月 山梨学院短期大学保育科 専任講師 (現在に至る) 2021 年 4 月 山梨学院短期大学 教務部長補佐 (2025 年 3 月まで)
担当科目	保育内容環境 子どもの保健 インクルーシブ保育Ⅱ 乳児保育Ⅰ 保育実習指導Ⅰ（施設） 保育実習指導Ⅲ 小児保健学特論（専攻科）
専門分野	教育学
現在の研究テーマ	保育学・教育学における「養護」の歴史研究
競争的資金等の研究課題	戦後日本における養護教諭制度の歴史的研究（日本学術振興会科学研究費助成事業「研究活動スタート支援」課題番号 20K22233） （2020 年 4 月～2025 年 3 月：研究期間 1 年延長）
所属学会	日本教育学会 日本学校保健学会
メッセージ	あつという間の短大生活です。本学で過ごせてよかったと思ってもらえるような 2 年間を一緒に作り上げていきたいと思っています。学内外で多くのことを学んで、よりよい人生にしていきたいと思います。

教育		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
教育方針		想像し考える授業をつくる
授業	授業の工夫	<インクルーシブ保育Ⅱ> インクルーシブ保育Ⅰで学んだことを活用し、保育現場に出た際に、自らの力で個別指導計画が作成できるように、グループワークを多く取り入れた。実際の事例を検討し、障害種別に関する知識を復習できるように事例を選定した。自分の言葉で説明する力をつけることができるように自作のワークシートを中心に授業を展開した。 <乳児保育Ⅰ> 乳児保育にかけられている社会的な期待に対し、保育者が背負う使命について改めて考え、保育者の専門性を学べるように工夫した。講義科目であるが、乳児保育Ⅱにつなげられるように、適宜ビデオを用いて実際の保育や子どもとのかかわり方を紹介した。毎回、コメントシートを書いてもらい、学生の授業に対する考えや意見、疑問などを確認し、次の授業開始時に丁寧にフォローした。講義を受講した学生のほとんどが、講義終了直後に初めての保育所実習に行くため、毎回の講義内容に即して実習で学べる乳児保育のポイントも適宜紹介した。
	授業改善のための取組	学生からのコメントシートを大切にし、授業について要望があれば、すぐに対応できるようにしている。「なぜ?」、「どうして?」、「どう思う?」と学生に問いかける姿勢を大切にしている。
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<卒業演習Ⅰ> 2024 年度は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの実施に伴い、個別ゼミとして活動をする時間を十分に取ることができなかった。しかし、学生の個別面談を丁寧に行い学生のケアに力を注いだ。 <卒業演習Ⅱ> 学生個人の問題関心を大切にして卒業レポートの執筆を指導している。具体的には、普段受講している授業や実習での疑問点を面談で聞き取り、学生と共に卒業レポートのテーマを検討している。2024 年度は、12 名の学生が卒業レポートの執筆を行った。

教育（つづき）		
2024 年 4 月～2025 年 3 月（つづき）		
ゼミ（つづき）	卒業レポート・ 修了研究テーマ	・ 幼少期の習い事経験がその後の人生に与える影響について ・ オーストラリアと日本の保育－環境－ ・ 若者の結婚意識に関するアンケート調査－短大生の結婚意識分析を中心として－ ・ 色を与える感情の変化について ・ フィンランド教育について－世界的にトップクラスといわれる教育法とは－ ・ 保育士養成校学生の進路選択に関する研究－専門職と一般職の選択要因に着目して－ ・ 感情と音楽の関係性－喜怒哀楽を通して見る音楽の心理的影響－ ・ 保育現場における「不適切保育」の発生要因と防止策に関する考察 日本とスウェーデンの保育スタイルの比較 ・ 「好き嫌いをなく食べることに」に関する意識調査 ・ 吹奏楽の経験が人にもたらす影響について－学生時代の吹奏楽の経験が人にどのように影響するのか－ ・ 障害を持つ子どもや発達に課題のある子どもの保育園での支援方法について ・ 保育士養成校学生の進路選択に関する研究－専門職と一般職の選択要因に着目して－
課外活動	－	
2024 年 3 月以前		
主な教育業績	－	

研究		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 日本の海洋教育の原点－（戦後）社会編－ （共著） ＜担当部分＞ 第 2 章 食糧生産から見た海＜水産＞ 第 3 章 工業生産から見ら海＜工業＞ 第 4 章 交通運輸からみた海＜海運＞ 第 5 章 生活からみた海＜離島＞ 第 6 章 国境からみた海＜国土＞ 第 7 章 環境としての海＜公害と資源保護＞ 補論 1 工業港をめぐる教育内容の分析 －教材比較を通して 附 録 学習指導要領における海洋をめぐる記述	2025 年 3 月	東信堂

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 障害児の共生教育運動－養護学校義務化反対をめぐる教育思想 （共著） ＜担当部分＞ 第 4 章 「障害児」は存在しない！－がっこの会による就学時健康診断反対闘争（pp. 75-94）	2019 年 11 月	東京大学出版会
（著 書） 日本の海洋教育の原点－（戦後）理科編－ （共著） ＜担当部分＞ 第 2 章 小学校における海洋教育教材のバリエーション（pp. 47-55） 第 3 章 中学校海洋教育教材のバリエーション（pp. 56-65） 第 4 章 小学校編 第 1 節 学習指導要領改訂の要点（pp. 68-75） 第 5 章 中学校編 第 1 節 学習指導要領改訂の要点（pp. 92-99）	2019 年 3 月	一藝社
（学術論文） 国民学校令における「養護訓導」の成立過程－教育審議会の「体位」に関する審議に着目して－ （単著）	2021 年 3 月	東京大学教育学研究科紀要 第 60 卷
（学術論文） <u>査読付き</u> 保育における「共同」の可能性－アトム共同保育所を手がかりにして－ （単著）	2020 年 7 月	東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室研究室紀要 第 46 号

研究（つづき）		
2024 年 3 月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） インクルーシブ教育における実践的思想とその技法－大阪市立大空小学校の教育実践を手がかりとして－ （共著）	2016 年 3 月	東京大学大学院教育学研究科紀要 第 55 号
（学術論文） <u>査読付き</u> 戦前期における学校看護婦の成立過程－その位置づけに着目して （単著）	2015 年 7 月	東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室・研究室紀要 第 41 号
（その他） インクルーシブ保育に関する研究動向 （単独）	2020 年 3 月	東京大学大学院附属バリアフリー教育開発研究センター活動報告 第 5 号
社会貢献 産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2024 年 4 月～2025 年 3 月		
－		
2024 年 3 月以前（主なもの）		
・ 山梨県児童館連絡協議会主催 放課後児童支援員認定資格研修会 講師 ・ 令和 3 年度山梨県幼稚園・保育所教育研究協議会＜A 部会＞ 講師 ・ 令和 3 年度保育士等キャリアアップ研修 乳児保育 講師 ・ 令和 3 年度 保育所等関係職員研修 乳児保育 講師 ・ 山梨学院幼稚園教職員研修 講師 ・ やまなし幼児教育センター 幼児教育アドバイザー ・ 大学コンソーシアムやまなし 学生交流部会		
受賞 ※個人、所属団体		
－		